

出雲大社周辺エリアにおける新たなモビリティの安全性・活用可能性の
検証等に係る社会実験の結果について

1 実験の概要

- (1) 目的 : 出雲大社周辺エリアにおいて、誰もが自由に移動し観光を楽しむことができる環境の構築と二次交通を利用した観光の促進
- ・ 新たなモビリティを活用し、歩行に不安のある高齢の方などにも家族・友人と一緒に楽しんでもいただける環境の構築
 - ・ 一畑電車などの公共交通を活用した観光サービスの提供
- (2) 内容 : 以下の 3 つの実験を実施
- ①シニアカーの貸出、安全性・活用可能性評価
 - ②電動キックボードの安全性評価
 - ③二次交通を活用した観光MaaS の検討
- (3) 実施主体 : 出雲市超小型モビリティ導入等社会実験協議会
- (4) 事業費 : 6, 8 4 0 千円 ※全額、国土交通省の交付金 (交付率 10/10)

2 実験結果

①シニアカーの貸出、安全性・活用可能性評価

期 間	令和 5 年 11 月 3 日 (金) ~ 12 日 (日) のうち 5 日 ※雨天中止 5 日
貸出場所	神門通りポケットパーク
貸出実績	利用者 : 計 24 人 (平均 4.8 人/日) ※使用車両は 4 台 [居住地] 県外・国外 : 19 人 (79.2%)、県内 : 5 人 (20.8%) [年齢層] 60 代以上 : 14 人 (58.3%)、50 代以下 : 10 人 (41.7%)
調査結果	●観光満足度 (満足、やや満足と回答した人の割合) 評価目標 80%以上 利用者 100%、同行者 100%
	●安全性に関する満足度 (満足、やや満足と回答した人の割合) 利用者 79.1%、同行者 100%、周辺店舗等 50.0% 評価目標 80%以上 [利用者、同行者の感想 (危険を感じた場所、場面)] ・ 神門通り : 人混み、下り坂が怖い。 ・ 神迎の道等の路地 : 道が狭い、車とのすれ違い、路面状態が悪い。 [周辺店舗等の意見 (やや不満と回答した人)] ・ 車道へのはみ出し ・ 歩行者や車とぶつかりそう。
	●自由意見 [利用者] ・ 色々な場所に行けて便利であった。 ・ ブレーキ等の操作に慣れない。

	・貸出場所が増えると良い。 [周辺店舗等] ・出雲大社から離れた店舗にも観光客に来てもらえる。 ・シニアカーと歩行者・車の双方の安全面が心配
--	--

【走行推奨ルート・駐車場所】



※⑦出雲大社社務所は、車いすに乗り換える人のみ

②電動キックボードの安全性評価 ※貸出は民間により実施

期 間	令和6年1月12日（金）、26日（金）
走行場所	神迎の道 ～ 稲佐の浜駐車場 ※実験期間中に貸出が開始されなかったため、関係者による試乗を実施
調査結果	●安全性に関する満足度（満足、やや満足と回答した人の割合） 利用者 75.0% 評価目標 80%以上 [利用者意見（やや不満の理由）] ・アクセル、ブレーキ、ウインカー等の操作に慣れが必要 ・交通ルールの周知・遵守、ヘルメットは必須 ・利用者のマナーが大事（譲り合い、並走不可、速度調整等） ●貸出店舗ヒアリング（安全に配慮された点等） ・神門通りは、安全面と歩いて観光してもらいたいため手押しとする。 ・二段階右折がしづらい交差点や一部の三叉路も手押しとする。 ・警察からの助言を基にした利用ガイド、交通安全動画を作成 ・宿泊施設や人力車とも連携していきたい。

③二次交通を活用した観光MaaSの検討（観光MaaSに対するニーズの確認）

〔観光MaaSとは〕

MaaSは、ICT（情報通信技術）を活用し、複数の交通手段を利用する際の最適な移動ルートの案内、予約・運賃支払を一括で行える等の移動に関するサービスのこと。

観光MaaSは、これらに観光周遊チケットや施設・店舗での割引など観光客向けのサービスを付加したもの。

期 間	令和5年9月15日（金）～12月4日（月）
内 容	・観光客へのアンケート調査（シニアカー利用者・同行者、グリーンスローモビリティ利用者） ・出雲大社周辺店舗・施設へのアンケート調査
調査結果	●観光客への調査 〔乗車券と観光施設の入場券等がセットになったお得な電子チケットの購入意向（購入、条件によって購入と回答した人の割合）〕 ・シニアカー利用者・同行者 87.1%、グリーンスローモビリティ利用者 97.8% 〔スマホでできると良いサービス〕 ※希望が多かった順 ・観光地までの行き方がわかる（交通手段、ダイヤ、乗継情報等）。 ・観光情報がわかる（歴史、云われ、スポット）。 ・観光地周辺の道路、施設の混雑状況がわかる。
	●出雲大社周辺店舗等への調査 〔観光MaaSへの参画意向（参画したい、条件によっては参画したいと回答した店舗等）〕 ・15事業者から、商品・サービスの割引、粗品の提供などで参画の意向あり

3 実験から見た課題

①シニアカーの貸出、安全性・活用可能性評価

課 題	対 応 策
安全性の確保	・運転操作や走行ルート等に関する丁寧な説明、試乗の実施 ・安全な走行ルートの設定と明示の工夫 ・危険箇所への安全対策 ・チラシ、ホームページ等による、シニアカー以外の道路利用者（観光客、地域住民及び店舗等）への周知・注意喚起
利用サービスの改善	・複数かつ最適な貸出（返却）場所の設置 ・駐車場所の再検討
貸出料金の設定	・観光客に受け入れられる貸出料金 ・事業主体、実施方法の検討 ・車両台数 ・行政の関わり
運営体制の構築	・緊急時等を考慮した十分なスタッフ体制 ・スタッフ教育（操作説明、接客、観光案内等） ・貸出時期の検討

広報・周知	・観光拠点や宿泊施設、公共交通の車内での情報掲載 ・地域住民等への情報提供 ・ホームページやSNSによる出雲大社周辺エリアの情報と合わせた情報発信 ・呼び名の見直し（愛称の命名）
-------	--

②電動キックボードの安全性評価

課 題	対 応 策
安全性の確保	・利用状況の把握 ・警察等との連携、情報共有 ・必要に応じて道路等への安全対策

③二次交通を活用した観光MaaSの検討

課 題	対 応 策
提供するサービス、導入方法の決定	・提供するサービスの検討 ・他の観光MaaSの情報収集 ・導入に必要な経費の試算 ・大手旅行サイト等との連携、活用可能性の検討

4 総括

①シニアカーの貸出、安全性・活用可能性評価	・安全性の満足度及び観光満足度とも、評価目標（80%以上）を概ね達成しており、活用可能性があると判断 ・本格実施のためには、いくつかの課題が判明。実験では、利用者・同行者の約半数が走行中に危険を感じた場面があったと回答しており、特に安全性の確保が重要 ・今後、課題の整理・解消を行い、歩行に不安のある方にも観光を楽しんでいただけるよう、貸出の実施に向けて取り組む。
②電動キックボードの安全性評価	・操作性、安全性の部分的な検証はできたが十分ではない。 ・引き続き、安全性の検証を行う。
③二次交通を活用した観光MaaSの検討	・観光客側（利用者）、店舗・施設側（サービス提供者）ともに、観光MaaSのニーズは高い。 ・今後、観光MaaSの導入に向けた課題の整理、あり方について検討を行う。

5 次年度以降の取組（予定）

令和6年度	令和7年度	令和8年度
・シニアカーの貸出及び観光MaaSの導入に向けた課題の整理、あり方の検討 ・電動キックボードの安全性の検証	・シニアカーの貸出に係る課題の解消 ・観光MaaSのサービス内容、導入方法の検討	（条件が整えば） ・シニアカーの貸出実施 ・観光MaaSの導入